

みなみちた 議会だより

第117号

平成18年11月1日



豊丘小学校の運動会

◇ 9月定例議会

「21議案を認定・可決」	2ページ
「委員会スポット」	3
「町の考えは・一般質問4氏」	4

〒470-3495 愛知県知多郡南知多町大字豊浜字貝ヶ坪18
発行/南知多町議会 ☎65-0711
編集/議会広報特別委員会 FAX65-0694

住民福祉の維持・向上を

図るため各種施策を実施

平成17年度決算を認定

 9月定例議会は、9月7日に開会、十五日間の会期を経て、町長提案の十八議案を認定・可決しました。
 また、請願一件を採択し、意見書二件を可決して、21日に閉会しました。
 その主なものの概要を、お知らせします。



▲愛知県・南知多町総合防災訓練

平成17年度決算認定

◎一般会計

(賛成多数)

◎国民健康保険特別会計

(全員賛成)

◎老人保健特別会計

(全員賛成)

◎介護保険特別会計

(賛成多数)

◎漁業集落排水事業特別会計

(全員賛成)

◎師崎港駐車場事業特別会計

(全員賛成)

◎水道事業会計

(賛成多数)

工事請負契約の締結

◎役場本庁舎耐震補強工事

・契約金額

一億四千七〇〇万円

・請負契約者

(株)石橋組

・契約の方法

指名競争入札

(全員賛成)

◎豊浜小学校北校舎改築工事

・請負契約金額

四億七千九八五万円

・請負契約者

浅沼・石黒特定建設

・契約の方法

工事共同企業体

制限付き一般競争入

札

(賛成多数)

尾州廻船内海船舶主 内田佐七家の設置及 び管理に関する条例 の制定

地方自治法の規定に基づき、施設の利用方法などの必要な事項を定めるため、制定するもの。

(全員賛成)

平成18年度一般会計 補正予算(第三号)

◎補正の主な内容

・老人憩の家整備事業費

の増

三五八万二千元

・沿岸漁業振興特別対策

事業補助金の増

四二六万三千元

・道路台帳加除修正業務

委託料の増

二千二〇九万二千元

(全員賛成)

請願

意見書

教職員改善計画の実施と学級規模の縮小を求める請願

請願を採択し、請願の主旨に基づいた意見書を可決したため、国の関係機関へ送付した。

道路整備の促進と財源の確保に関する意見書(議員提案)

「国におかれては、地方における着実な道路整備に向けて、安定的な財源確保を措置されるよう強く要望する」という内容の意見書を可決したため、国の関係機関へ送付した。

委員会 スポーツ

▽総務文教委員会△

平成17年度一般会計決算認定

問 教職員住宅貸付料の内容と、利用者数はどうか。

答 教職員住宅は、篠島・日間賀島に五棟あり、貸付料は家賃に相当するもので、四三人が利用している。

問 サービスセンターの臨時職員賃金に不用額が出ているが、理由は何か。

答 臨時職員の賃金は、開庁日すべてを当初予算に計上しているが、

▽建設厚生委員会△

平成17年度一般会計決算認定

問 知多厚生病院施設整備事業補助金二千六十五万円が支出されているが、財政の厳しい本町にとつては大きな負担である。こうしたことについては、住民へ詳細な説明をすべきだと思ふがどうか。

答 この補助金は、知多厚生病院の病棟改築事業の補助金として、平成9年度から平成18年度までの十年間、毎年度二千六十五万円を補助しているもので、議会へも説明し、理解をいただいて予算化したものである。今後とも、こうしたことについては、住民の代表である議員皆さんのご理解をいただくために、必要により厚生病院からの説明をお願いしていきたい。

問 観光振興費が前年より減額となっているが、その内容は何か。

答 観光振興費の主なものは、町観光協会補助金及び海水浴場保護及び浴客安全対策費補助金で、前年比二七三万円の減額となっている。

問 藻場再生モデル事業は、いつから実施しているか。またアラメの生育状況はどのようになっているか。

答 この事業は、藻食性のアイゴ等によるアラメへの食害・防除調査を目的として、平成16年度から調査事業を行っている。防護網で囲ったアラメについては、食害を免れていた状況が見受けられていた。防護網の設置は、アラメ藻場の再生に効果が得られると考えるが、防護網の設置・管理等には多大な作業労力が必要なため、今後さらに作業方法等検討していく必要がある。

一般質問

- 1番 榎本芳三議員 (1) 内海高校存続について
- 2番 榎戸陵友議員 (1) 安全なプールの管理について
(2) 水上バイクの事故防止について
(3) プレジャーボートの管理について
- 3番 高橋孝夫議員 (1) AED(自動体外式除細動器…電気ショック)設置(配置)を願う
- 4番 木村清美議員 (1) 高齢者福祉の充実
(2) 町民の参政権保障について

内海高校存続について



榎本芳三議員

問

平成15年10月に「内海高校廃校」の記事が新聞で発表され、地元には大きな衝撃を与えた。この記事によれば、平成22年度までに知多郡内で高校三校廃止するという計画となっている。

内海高校は、知多郡内では歴史のある高校である。高校が近くにあることによって、通学に要する交通費や下宿代なども節約でき、家計の負担も軽くなり、大学まで行かせることができた、という話も聞く。これから高校生を持つ親のことも思うと、内海高校を存続していただきたいと願うものである。

平成18年度までに知多郡で統合した高校はどこか。

答

日比教育長

愛知県教育委員会は、魅力と活力ある県立高等学校づくりを目指し

た再編整備計画を進めている。

その計画に従って、平成17年度には知多高校と知多東高校が統合し、知多翔洋高校として、知多東高校の地に開校した。平成18年度は、常滑高校と常滑北高校が統合した。

問

平成18年度に内海高校に入学した生徒は、南知多町内の中学校卒業生の何%か。

町内の進学者は二三人で、その内、内海高校へ進学したのは十九人で八・一%である。

答

内海高校存続について、これまでの要望・陳情などの経過と今後の取り組みについて問う。

問

内海高校の存続のための最初の陳情は、美浜町と一緒に、平成13年12月に、知事・県議会議長・県教育長にした。第二回目は平成15年5月に、美浜町・武豊町と共に、内海高校と武豊高校の存続の要望書を出した。第三回目は、平成18年5月に、内海高校同窓会、武豊高校同窓会、美浜町、武豊町、川口県議員と共に、同様の要望書を提出した。

答

また、自由民主党県会議員団には、平成14年度から毎年内海高校の存続の要望をしてきた。中学校のPTAも、平成15年度から、毎年要望をしている。

県教育委員会は、本年度中に知多地方で統合する三校目の高校を決定することとしているが、今までの県への働きかけなどから受ける印象としては、内海高校は存続する

可能性がかなり高いと思っている。

問

現状はよくわかったが、何とか内海高校を存続してもらいたいと思うので、これから要望書を町長・教育長から、県知事や県教育長に直接渡すようにしていただきたい。また、県議会の各党の県連本部にも、要望書を提出してもらいたいと思うがどうか。

答

内海高校存続については、皆さんにご心配をかけているが、先の新聞報道については、県教育委員会からの発表ではない。そのことは、教育委員会から当時の校長の方に伝えられている。町教育委員会としても、県教育委員会や県議会等に機会があるごとに存続についてお願いしている。町長も県知事はじめ県議会・各党にお願いしており、これからも内海高校の存続について、引き続き努力していきたい。



▲県立内海高校

安全なプールの管理について



榎戸陵友議員

問

今年、7月末になって猛暑に見舞われ、海や川、プールなどで水の事故が相次ぎ起きた。7月31日、埼玉県ふじみ野市の市民プールで、同県所沢市山口、小学二年戸丸瑛梨香さんが遊泳中にプール側面の吸水管に吸い込まれ、死亡した。事故直前に、吸水管のアルミ製のふたが外れており、人災の可能性が高いとの見方も出ている。一方、文部科学省は全国の公立学校と教育委員会が所管する公営プールについて、毎年夏前にプールの安全管理を求め、通知を出し、排水口などのふたをボルトなどで固定するとともに、ふたとは別に格子状の吸い込み防止金具を設置するように求めている。我が町の学校のプールに問題はなにか。

答

日比教育長
本年8月、学校現場へ行き調査をしたところ、県条件で示されているとおり、循環口・排水

口が二重の構造で設置されていることを確認したので、安全上問題はないと考える。

水上バイクの事故防止について

問

8月2日午後、吉良町の三河湾で水上バイクが転覆し二人が死亡した。20日には、岐阜県羽島市の木曾川で一人死亡。滋賀県の琵琶湖でも同様の事故が起きた。最近、我が町でも水上バイクが増大しており、事故が懸念されるが、町当局としてどのように認識し対処してゆくのか。

答

小久保総務部長
県の迷惑防止条例第八条では、「何人も、通常、人が遊泳し、又は手こぎのボートその他的小船が回遊する水面において、モーターボートその他の原動機を用いて推進する舟、水上スキー又はヨットをみだりに疾走させ、急転回させ、人の間を縫って走行させる等

により、人に対し、危険を覚えさせるような行為をしてはならない」となっている。本町としては、第四管区海上保安部や半田警察署と連携し、遊泳区域内への水上バイクの乗り入れや、危険走行の禁止を海水浴場において放送や看板により、注意を促している。

問

我が町の中でも風光明媚な大井漁港の中は、プレジャーボートが数多く停泊しており、より一層、海の景観を増大させている。しかし、年々数が増大し限度一杯で、順番待ちをしている状態と聞く。これに対し、漁港を整備するとか、あるいは、他の漁港にも停泊できるようなすとか様々な対策があると考えますが、町当局はどのように考えか。

答

石堂建設経済部長
平成10年に大井漁業協同組合の協力で、大井漁港内の一部をプレジャーボートの係留区域として指定した。また、県管理漁港では豊浜漁港の小佐地区も、プレジャーボートの係留区域として愛知県が指定している。町内の他の漁港においても、今後、漁船が減少し既存の係留施設の利用が漁船以外にも可能になり、漁業活動に支障をきたさないようであれば、漁業組合にプレジャーボートの検討をしてもらいたいと考えている。しかし、漁港施設として新たにプレジャーボートの施設を整備することは現在考えていない。

プレジャーボートの管理について



▲大井漁港のプレジャーボート

AED(自動体外式除細動器 …電気ショック)設置(配置)を願う



高橋孝夫議員

問

突然の心停止(心臓突然死)はいつ、どこで、誰にでも起こると考えられ、世界各国の主要な死亡原因の一つとなっている。我が国においては救命率が5%以下で年間二万人から三万人が亡くなっているといわれている。

しかし、近年、AED(自動体外式除細動器:電気ショック)が開発されたことにより、一一九番通報から救急隊が現場に到着するまでは平均六・三分かかるといわれるその間にAEDを使用するとかかなりの救命率が向上されている。

救急関係者によると、今後はAEDの普及率増加が救命率を高めることは間違いないといっている。AEDは軽くて操作が簡単で、器具の電源を入れ、二個のパッドを胸部に貼ってコネクタを差し込むだけで音声指示に

よりショックボタンを押すだけである。一回の使用方法を習うだけで簡単に覚えられる。「突然の心停止」を起こした方の命を救うためには「救命の連鎖」といわれる四つの行動を迅速に行う事が重要といわれる。

その四つとは、迅速な一一九番通報↓迅速な心肺蘇生法↓迅速な除細動↓迅速な高度救命処置が傷病者の救命率を高める。この中の迅速な除細動が、いわゆるAEDの電気ショックである。この除細動が一分間遅れるたびに約一〇%の割合で救命率が低下する。単純に計算すると一〇分たつと生存率は〇%になってしまう。住民の大切な生命を少しでも救えるAEDの設置(配置)を要望したい。現在、町として設置(配置)しているAEDは何台か。

答

小久保総務部長
現在町として配置しているAEDはないが、知多南部消防署においては、二台の救急車にそれぞれ一台ずつ配置している。



▲自動体外式除細動器

問

町以外の私的、公共による配置はどれほどか。

答

現時点で把握している町施設以外での配置状況は、愛知県の機関では県立内海高校、ビラマリー南知多に各一台、民間施設では、チ

ツタナボリのスポーツドーム、南知多病院に各一台配置されている。また、篠島の自主防災会が防災機器の整備を進めており、その中でAEDを一台購入することとしている。

答

突然死の死因のほとんどは心臓疾患と言われ、その大部分は心室細動という病気である。この心室細動を正常な状態に戻す唯一の方法は、AEDによる除細動(心臓への電気ショック)であると言われており、法改正や愛知万博会場への設置をきっかけに、早期の除細動ができるAEDの配置を各市町が進めているところである。

篠島、日間賀島や多くの海水浴場を抱える当町においては、大切な生命を少しでも救えるよう各地域にAEDを配置することが必要であると考えており、今後、財政状況を見ながら、公共施設などへの配置について、順次整備を進めてまいりたい。

問

島をかかえた我が町は海水浴場も数ある。そのような場所と学校、公共施設及び各地域に配置する考えは。

高齢者福祉の充実



木村清美議員

問

包括支援センターの設置状況はどうか。また、新予防給付へ移行する人数と移行したあと、電動車椅子等福祉用具の貸与ができなくなると推定されるのは何人か。軽度認定であることをもって、機械的に保険外の対象とすることのないよう、医師やケアマネージャー等と十分検討し対応されたい。

答

田中厚生部長
地域包括支援センターの設置は、介護保険法により、平成19年度までに設置することが義務付けられているので、本町では、町直営により平成18年11月1日の開設に向け、人員や事務室等の確保を行う為に準備している。また、平成19年1月から新予防給付も実施することとしている。その為平成18年11月1日より更新申請を受け付け、

順次、認定審査を実施、介護度の決定をしていく。新予防給付へ移行すると見込まれる人数は、平成18年7月末現在の要介護

一の方、三二二人の六〇％と、要支援の方、一八八人で、三〇〇人程度と見込んでいる。次に車椅子等、利用できなくなる方については、平成18年4月の改正により、要支援・要介護一の軽度認定者については、原則、車椅子・電動車椅子及び特殊寝台の貸与ができなくなる。なお経過措置として、平成18年3月以前から使用している方については、引き続き平成18年9月末までは利用できるが、10月以降は利用できなくなる。現在、要支援及び要介護一の方で福祉用具を借りている方は、車椅子十七人、電動車椅子五人、特殊寝台五人の合計七三人であるが、この七三人の方については、今回の改正によって、10月以降、福祉用具の貸与が受けられないものと見込んでいる。なお、軽度者であることをもって、機械的に保険給付の対象外と

することのないよう、国の通知に基づく例外に該当する者であるかどうかを十分検討していきたい。

問

包括支援センターの相談窓口は、権利擁護等の観点や地形的な問題もあり、両島には相談窓口が必要ではないか。

答

検討をし必要であれば設置したい。

問

農業委員会委員選挙の無投票が続いたとはいえ、告示わずか二日前に選挙説明会を実施することは、怠慢であり費用節減のため無投票を目指したととれるがどうか。また、島民の参政権を保障するため、次回から両島に投票所の設置を求める。

答

石黒選挙管理委員会書記長

平成17年度において愛知県内ではほとんど無投票であり、本町においても、今回から、選挙による委員定数が大幅に減少したが、南知多町誕生して以来無投票であり、今回の選挙においては無投票も想定していた。しかしながら、選挙の公平性を念頭に置いた場合、立候補説明会の開催が必要であると判断し実施した。経費節減のために無投票を目指すことは一切ない。次回から十分な期間が得られるよう配慮していく。また、投票所の統合については、両島の有権者数や投票所の運営に係る経費や効率と一投票所当たりの有権者数などを総合的に勘案し、町選挙管理委員会により決定したものである。今後は、町全体のあり方を検討していく。

町民の参政権保障について



▲福祉用具

表紙の写真

豊丘小学校の 運動会

豊丘小生徒四八名全員で、「丘ソーラン節」を踊りました。
これは、テレビドラマ「三年B組金八先生」で踊っていたものをアレンジしたそうです。
秋晴れながら風が強く吹いた中で、地域の方々の協力のもと、生徒全員が元気に「風の子」になっていた姿に感激しました。

議会日誌

日	内容
1日	愛知県町村議会広報研修会
2日	八百津町議会運営委員会視察来町
3日	定例郡議長会
23日	知多地区農業共済事務組合定例議会
29日	議会運営委員会
14日	総務文教委員会
21日	9月定例議会（最終日）
19日	常任委員会合同行政視察
20日	議会広報特別委員会
24日	議会広報特別委員会
25日	愛知県町村議会議長会定期総会
30日	定例郡議長会
5日	議会全員協議会
7日	9月定例議会（初日）
12日	建設厚生委員会

※次回の定例議会は12月5日開会予定です。
お気軽に傍聴に来てください。

(株)知多半島ケーブルネットワークによる録画放送は、12月17日(日)午前10時と18日(月)午後10時の予定)

編集室より

秋祭りが、各地で行われています。春夏秋冬の変化による自然の恵みへの祭りです。
近年はハウス栽培等により、野菜や果物に旬がなくなりました。
しかし、今一度、四季の移り変わりによる自然現象のおかげで、海の幸・山の幸・野の幸が得られることに、感謝したいものです。

(T・T)

皆の 声 を

町民の皆さんの声をお待ちしています。読後の「意見・感想」を議会事務局までお寄せ下さい。

この「議会だより」は古紙配合率100%の再生紙を使用しています。